

平成31年1月23日(水)

親の悩み子の悩み

この1週間、お父さんお母さんもめまぐるしく変化する子どもの心のありようを把握され、何をどうするべきかお悩みになっていることがあると思います。子どもは、基本的に自分のことを含めて、すべてのことを考えようとするから、背負いきれないものまで背負い、青息吐息になることもしばしばです。

それでも、子供たちは何とかするものです。解決の道を自分なりに手繰り寄せ、前を向いて進もうとするのです。若者とはなんと素晴らしいものなのでしょうか。昔、自分たちも、もう少しこうだったらああだったらと思いながら、収まるところに収まってきたはずです。

そして子供たちも、きっと収まっていくはずです。

三者面談の中でも、子供がどうしようとしているかをきちんと聞いて、その方針を後押ししていくとよいと考えます。

私の経験では、長女の時は、もう少し受験する私立大学を絞ってはどうかという言葉を口元まで出かかったときに、「やりたいように挑戦しなさい。」としたことは今間違っていなかったと思います。長男の時は、「前期と後期を同じ大学にしてはどうか」という言葉を飲み込んだばかりに、後期試験を受けに行ってもきちんと受験しなかったことが悔やまれます。自分の意見をお父さんはこう思うということの大切さを感じました。

そのことで縛らないようにして、あとは任せるということはフォローして伝えることは間違っていないと思います。

親も子もいろいろ考える日々ですが、皆で子供たちを信頼していきましょう。

